

# 平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展	個別事業掲載No	教 ー 1
-----	--------------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 コミュニティ・スクール委員会の活動を通じ、学校・家庭・地域の連携を進めるとともに、地域人財の育成に取り組み、コミュニティ・スクールの機能の充実を図る。 自律的な学園・学校経営の推進に向けた学校評価・学園評価の計画的な実施と、学校支援体制の一層の充実を図る。また、実施方針に基づく小・中一貫教育の充実により、学園として一体感のある教育を推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学園のスタンダード」に基づき、学校、家庭、地域が一体となった児童・生徒の望ましい学習習慣や生活習慣の定着に向けた啓発と実践に向けた取り組みの推進</li> <li>コミュニティ・スクールの理念の継承・活動の発展に向けた支援体制の充実と地域人財の養成</li> <li>小・中一貫教育の教員の指導体制のヒアリング及び全校に対する指導訪問</li> <li>コミュニティ・スクール連絡会(会長対象)等を通じた、各コミュニティ・スクール委員会の情報共有</li> <li>教育振興基金を活用し、3学園でCSガイドを作成</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>CS連絡会① CS連絡会② CS会長・副会長連絡会① CS連絡会③</p> <p>○補正予算議決 3つの学園でCSガイド作成</p> <p>学校支援者養成講座 企画 教育ボランティア養成講座、CS委員対象講座 実施</p> <p>指導体制のヒアリング 指導訪問</p> <p>全国CSサミットin上越にて発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合の増加</li> <li>・ 学校支援ボランティアの参加数の増加</li> <li>・ 学校支援者養成講座の実施</li> <li>・ 3学園におけるCSガイドの作成</li> </ul>											

中間評価	上半期の実績・課題等	コミュニティ・スクール委員改選後の新体制が、円滑に進むよう、会長を対象とした「CS連絡会」を4月、6月に、会長、副会長を対象とした「CS会長・副会長連絡会」を7月に開催した。CS連絡会では、「学園のスタンダード」に基づく各学園の取組の報告及び情報共有を行った。CSガイドは3学園で作成中である。7月に全国CSサミットin上越に、関東支部代表として実践発表を通じた鷹南学園CS委員会を支援した。										
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員改選後の新体制が円滑に進むよう、コミュニティ・スクール連絡会を新設し、新会長を支援した。</li> <li>・ CSガイドを新たに3学園で作成し、これをもって全学園が作成を完了した。</li> <li>・ 教育ボランティアの経験に応じた3コースの学校支援者養成講座を希望校で開催した。</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>CS連絡会① CS連絡会② CS会長・副会長連絡会① CS会長・副会長連絡会②</p> <p>○補正予算議決 3つの学園でCSガイド作成</p> <p>学校支援者養成講座 企画 教育ボランティア養成講座、CS委員対象講座 実施</p> <p>指導体制のヒアリング 指導訪問</p> <p>○全国CSサミットin上越にて発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合 79.4% (平成26年度比 1.7ポイント減)</li> <li>・ 学校支援ボランティアの参加者数 16,823人 (平成26年度比 984人減)</li> <li>・ 学校支援者養成講座を実施</li> </ul>											
	事業の総括(主管課)	<p>コミュニティ・スクール委員会の協力のもと、学校評価・学園評価を着実に実施し、児童・生徒の声や地域・保護者の意向を反映させ、継続的に学園・学校運営の改善を図った。また、教員の学校マネジメント能力の一層の向上を図るため「三鷹市立学校人財育成方針」を一部改正した。</p> <p>委員改選後の新体制が円滑に進むよう、コミュニティ・スクール連絡会を新設し、新会長を支援するとともに、全国コミュニティ・スクール研究大会での鷹南学園の発表に向けた支援を行った。中央学園コミュニティ・スクール委員会は、優れた「地域による学校支援活動」の功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>コミュニティ・スクール委員会では、児童・生徒の望ましい学習習慣、生活習慣の定着に向け、自律的・発展的に各々の地域特性を踏まえた「学園のスタンダード」の実践・改訂に取り組むとともに、CSガイドを新たに3学園(連雀学園・にしみたか学園・おおさわ学園)で作成したことにより、コミュニティ・スクール委員会の活性化と各学園の特色を幅広く広報する活動につながった。</p> <p>「学校支援者養成講座」のうち、教育ボランティア養成講座は、ボランティア経験に応じた3コースを希望校で開催し、コミュニティ・スクールを支える地域人財の養成に努めた。</p> <p>進学者数の割合は、79.4%となったが、引き続き、学校・家庭・地域の協働により一層の小・中一貫教育の充実を図り、増加をめざす。また、学校支援ボランティアの参加者数については、学園・子どもの実態に応じたボランティアの活用を図る中で、延べ人数が減となったが、研修会の開催や広報誌の充実等により、ボランティア登録者数は176人増の2,771人となり、支援者の裾野の拡大につながった。</p>											
事業評価審査会評価・意見等	予算執行	予算額	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績								
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上	1 計画どおり	2 計画の7割未満	3 その他(取組方針の変更等)						

# 平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

<b>事業名</b>	健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）	<b>個別事業掲載No</b>	教 — 2
------------	--	-----------------	-------

<b>当初計画</b>	<b>事業概要・事業量</b>	<p><b>【事業概要】</b> 平成28年の完成をめざし、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備を徹底した安全管理のもと、計画的に推進する。また、管理運営計画を策定するとともに、引き続き、市長部局と連携し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、効率的・効果的な施設管理と質を確保したサービスを提供できるよう、管理運営体制の検討や関連規程の整備（生涯学習センター（仮称）設置条例の制定、市民体育施設条例の改正等）、指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の作成など、開設に向けた準備を進める。</p> <p><b>【事業量】</b> ・施設整備の推進 ・管理運営計画の検討 ・管理運営体制の検討 ・関連規程の検討（生涯学習センター（仮称）設置条例の制定、市民体育施設条例の改正等） ・指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の検討 ・開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等） ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p>											
	<b>スケジュール</b>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>施設整備の推進</p> <p>管理運営計画の検討 策定</p> <p>管理運営体制の検討、開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等）</p> <p>関連規程の検討（生涯学習センター（仮称）設置条例の制定、市民体育施設条例の改正等）</p> <p>指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の検討</p> <p>関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p>											
	<b>事業の成果（目標）</b>	<p>・施設整備の推進 ・管理運営計画の策定 ・関連規程の整備（生涯学習センター（仮称）設置条例の制定、市民体育施設条例の改正等） ・指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の作成 ・開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等）の推進</p>											

<b>中間評価</b>	<b>上半期の実績・課題等</b>	<p>施設整備は徹底した安全管理のもと、計画的に行われており、基礎・躯体工事をはじめ、内・外装工事や設備工事も順調に進んでいる。管理運営計画については、「新川防災公園・多機能複合施設（仮称）管理運営計画」を6月に策定し、議会や教育委員会をはじめ、関係する審議会や団体等へ説明、報告を行った。また、7月13日付けで、開設準備室が設置され、業務仕様書の作成に向けた業務の洗い出しや施設設置条例の検討、次年度予算に向けた備品類の精査等を進めた。</p>										
	<b>事業評価審査会特記意見</b>	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。									
	<b>主管課評価</b>	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

<b>事後評価</b>	<b>実績</b>	<p>・施設整備の推進 ・管理運営計画の検討 ・管理運営体制の検討 ・関連規程の検討（生涯学習センター条例の制定、市民体育施設条例の改正等） ・指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の検討 ・開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等） ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p>											
	<b>スケジュール</b>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>施設整備の推進</p> <p>管理運営計画の検討 策定</p> <p>管理運営体制の検討、開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等）</p> <p>関連規程の検討（生涯学習センター条例の制定、市民体育施設条例の改正等）</p> <p>指定管理業務要求水準書（業務仕様書）の検討</p> <p>関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p>											
	<b>事業の成果（実績）</b>	<p>・施設整備の推進 ・管理運営計画の策定 ・関連規程の整備（生涯学習センター条例の制定、市民体育施設条例の改正等） ・開設に向けた準備（備品調達や移転に係る調整等）の推進</p>											
	<b>事業の総括（主管課）</b>	<p>施設の建設工事は順調に進んでおり、建物部分の工事は概ね完了した。平成27年6月には管理運営計画を策定し、関係する審議会、団体等への説明や意見交換などを行った。意見交換の中では、施設の貸出等に関する要望をいただき、利用時間区分や使用料の項目について一部変更を行い、施設の設置条例に反映することができた。また、7月に設置された三鷹中央防災公園・元気創造プラザ開設準備室と連携しながら、施設で展開する具体的な事業や調達する備品の検討を行うとともに、管理運営主体の中心として「公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団」を改組する新財団「公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団」を指定管理者とすることを予定して、管理運営体制の検討を行った。さらに、「新川防災公園・多機能複合施設（仮称）」を「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」とし、各施設の設置条例の制定、改正を行ったほか、条例施行規則案や施設の維持管理業務等に係る業務仕様書等の作成に取り組んだ。</p>											
	<b>事業評価審査会評価・意見等</b>		予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績						
				予算額	0千円	0千円	0千円						
				決算額	0千円	0千円	0千円						
				執行率（%）	0.0%	0.0%	0.0%						
<b>主管課評価</b>	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	教育ビジョン2022等の改定（教育ビジョン2022）	個別事業 掲載No	教 — 3①
-----	----------------------------	--------------	--------

当初計画	【事業概要】 第4次三鷹市基本計画の第1次改定にあわせて、教育ビジョン2022の改定を行う。 コミュニティ・スクール委員会などにおける協議内容を踏まえるとともに、基本計画との整合を図りながら改定を行う。												
	【事業量】 ・素案作成、教育委員会協議、パブリックコメントの実施												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	○素案作成						○教育委員会協議	→ ○教育委員会（素案確定）		○パブリックコメント		○教育委員会協議	○教育委員会（確定）
事業の成果（目標）	教育ビジョン2022の改定												

中間評価	上半期の実績・課題等	8月下旬～9月にかけて、コミュニティ・スクール委員会に対し、改定の説明と意見聴取を行った。												
	事業評価審査会特記意見							政策会議 評価・意見等						
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素案作成（12月）</li> <li>・教育委員会協議（2回）</li> <li>・パブリックコメント（1月12日～2月1日）</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○素案作成						○コミュニティ・スクール委員会への説明・意見聴取	○教育委員会協議	○教育委員会協議	○素案確定	○パブリックコメント	確定○	○教育委員会議案審議
	事業の成果（実績）	・教育ビジョン2022の改定												
	事業の総括（主管課）	<p>改定計画には、コミュニティ・スクール機能をさらに充実するため、広報活動の充実や学園間の交流・連携の推進、支援体制の強化を追加するとともに、「三鷹『学び』のスタンダード」（学校版）の活用や主体的・協働的な課題解決学習を盛り込み、PDCAサイクルを踏まえた学校経営体制の充実を明記した。</p> <p>改定にあたっては、第4次三鷹市基本計画（第1次改定）や他の個別計画等との整合を図るとともに、教育委員会協議、コミュニティ・スクール委員会への説明・意見聴取、パブリックコメントを適切に実施した。</p>												
事業評価審査会評価・意見等							予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績				
							予算額	0千円	0千円	0千円				
							決算額	0千円		0千円				
							執行率（%）	0.0%		0.0%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	教育ビジョン2022等の改定（教育支援プラン2022）	個別事業 掲載No	教 — 3②
-----	-----------------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 第4次三鷹市基本計画の第1次改定にあわせて、教育支援プラン2022の改定を行う。 教育支援推進委員会などにおける協議内容を踏まえるとともに、基本計画との整合を図りながら改定を行う。</p> <p>【事業量】 ・素案作成、教育委員会、教育支援推進委員会協議、パブリックコメントの実施</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○素案作成			○教育支援推進委員会			○教育委員会協議			→○教育委員会(素案確定)		○パブリックコメント	
事業の成果(目標)	教育支援プラン2022の改定													

中間評価	上半期の実績・課題等	教育支援推進委員会において、協議をし、教育支援プラン2022の改定の意見聴取を行った。特別支援教室設置や、固定制・通級制の教育支援学級の在り方、福祉・保健・医療等との連携についても、教育支援プラン2022の改定へ反映するため、引き続き検討グループにおいて、協議を重ねる。											
	事業評価審査会特記意見				政策会議 評価・意見等								
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素案作成（12月）</li> <li>・教育委員会協議（2回）</li> <li>・パブリックコメント（1月12日～2月1日）</li> </ul>													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		○素案作成			○教育支援推進委員会			○教育委員会協議			→○素案確定		○パブリックコメント		確定○
	事業の成果(実績)	・教育支援プラン2022の改定													
	事業の総括(主管課)	改定計画には、合理的配慮に基づく教育支援の考え方や、校内通級教室（仮称）の整備、固定制・通級制の教育支援学級の在り方、福祉・保健・医療等との連携についても反映した。 改定にあたっては、第4次三鷹市基本計画（第1次改定）や他の個別計画等との整合を図るとともに、教育委員会での協議、教育支援推進委員会での説明・意見聴取やパブリックコメントを適切に実施した。													
事業評価審査会評価・意見等				予算執行			26年度実績		27年度6月補正		27年度実績				
							予算額		0千円		0千円				
							決算額		0千円		0千円				
							執行率(%)		0.0%		0.0%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）											

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	教育ビジョン2022等の改定（生涯学習プラン2022）	個別事業 掲載No	教 — 3③
-----	-----------------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 第4次基本計画の第1次改定とともに、生涯学習プラン2022の改定を行う。 社会教育委員会議などにおける協議内容を踏まえるとともに、基本計画との整合を図りながら改定を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>素案作成、社会教育委員会意見聴取、教育委員会協議、パブリックコメントの実施</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○素案作成			○社会教育委員会議			○社会教育委員会議			○パブリックコメント		○確定
事業の成果（目標）	生涯学習プラン2022の改定												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>【実績】改定の方向性を検討し、生涯学習計画推進会議で各課への説明と各論部分の作業を依頼した。 【課題】社会教育委員会議での意見聴取、教育委員会協議を経て素案を作成し、パブリックコメントを行った後、3月に改定する。</p>										
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等										
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>素案作成、社会教育委員会意見聴取（3回）、教育委員会協議、パブリックコメントの実施</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○素案作成			○生涯学習計画推進会議			○社会教育委員会議			○社会教育委員会議		○確定
	事業の成果（実績）	生涯学習プラン2022の改定											
	事業の総括（主管課）	<p>改定計画には、基本的視点として生涯学習振興行政の総合的推進を追加し、重点事業を三鷹中央防災公園・元気創造プラザの整備、「図書館基本運営方針（仮称）」の策定と推進、「三鷹市スポーツ推進計画2022」の推進、「三鷹型エコミュージアム事業」の推進、大沢二丁目古民家（仮称）の整備とするなど見直しを行った。</p> <p>改定にあたっては、生涯学習計画推進会議での内容確認、社会教育委員会議での方向性や素案に対する説明と意見聴取、教育委員会協議やパブリックコメントを経て行った。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等		予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績						
				予算額	0千円	0千円	0千円						
				決算額	0千円		0千円						
				執行率（%）	0.0%		0.0%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	教育ビジョン2022等の改定（みたか子ども読書プラン2022）	個別事業掲載No	教 — 3④
-----	---------------------------------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 第4次三鷹市基本計画の第1次改定にあわせて、みたか読書プラン2022の改定を行う。 図書館協議会での協議内容を踏まえるとともに、基本計画との整合を図りながら改定を行う。</p> <p>【事業量】 ・素案作成、図書館協議会での検討、教育委員会協議、パブリックコメントの実施</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	みたか子ども読書プラン2022の改定											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>これまでの4年間の取り組みの成果について検証を行った。そこから洗い出された課題を整理した。これらを一覧表にまとめ、三鷹市立図書館協議会に示し、協議会委員から意見を聴取し、その意見を踏まえ、素案の作成を開始した。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・図書館協議会意見聴取（8月20日、10月15日、11月19日）、素案作成（4月～12月）、パブリックコメントの実施（1月12日～2月1日）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>・みたか子ども読書プラン2022の改定</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>改定計画には、図書館サービス網の再編（コミュニティ・センター図書室との連携、移動図書館巡回ステーション配置見直し）、学校図書館など関連部署と連携した読書環境の拡充、図書館サポーターなどの人材育成などを追加した。また、成長の段階に応じた切れ目のない支援のため、施策を体系化し再編成した。 改定に当たっては、第4次三鷹市基本計画（第1次改定）や他の個別計画等との整合を図るとともに、三鷹市立図書館協議会意見聴取、パブリックコメントを適切に実施した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等				予算執行	26年度実績		27年度6月補正		27年度実績			

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上	1 計画どおり	2 計画の7割未満	3 その他（取組方針の変更等）
-------	---	-----------	---	--------	---------	-----------	-----------------

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	学校体育館の耐震補強の実施	個別事業 掲載No	教 — 4
-----	---------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 耐震補強工事が必要となった6校の学校体育館について計画的に耐震補強工事を行う。平成27年度は、平成26年度に実施設計を行った4校の耐震補強工事を実施し、平成27年度中に市立小・中学校の耐震化率100%をめざす。</p> <p>【事業量】 ・学校体育館耐震補強工事（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>第三小学校体育館耐震補強工事(契約日：平成27年5月20日、完了予定日：平成27年9月30日)</p> <p>中原小学校体育館耐震補強工事(契約日：平成27年5月21日、完了予定日：平成27年9月30日)</p> <p>北野小学校体育館耐震補強工事(契約日：平成27年5月20日、完了予定日：平成27年10月15日)</p> <p>第六中学校体育館耐震補強工事(契約日：平成27年5月21日、完了予定日：平成27年9月30日)</p>											
事業の成果（目標）	学校体育館4校（第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）の耐震補強工事を実施												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>学校体育館耐震補強工事（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校） 北野小学校体育館耐震補強工事については、予定していた補強方法について一部変更が生じたため、工期の延伸が必要となった。具体的な工期延伸の期限については調整中であるが、工期の延伸にあたっては、授業や学校行事等への影響が最小限となるよう努めるとともに、都市整備部公共施設課を通じて工事の状況確認及び進行管理等の強化を図りできるだけ早い工事完了をめざす。</p>										
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等										
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	学校体育館耐震補強工事の実施（4校）：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校の4校の体育館耐震補強工事完了により、三鷹市立小・中学校施設の耐震化率は100%となった。</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校の4校の耐震補強工事が完了し、三鷹市立小・中学校施設の耐震化率は100%となった。これにより、児童・生徒の教育活動の拠点であるとともに、災害発生時には地域の防災拠点ともなる学校施設の安全性を確保することができた。</p> <p>なお、北野小学校体育館耐震補強工事については、予定していた補強方法について一部変更が生じたため、工期の延伸が必要となったが、都市整備部公共施設課による工事の状況確認及び進行管理等の強化を図り、学校の協力を得ながら、教育活動への影響を最小限に留める中で、予定より一月半程度遅れで体育館の使用を開始することができた。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績					
				予算額	134,666千円	230,693千円	232,046千円						
				決算額	120,485千円		229,049千円						
				執行率(%)	89.5%		98.7%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									





平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	高山小学校の学級数増への適切な対応	個別事業 掲載No	教 — 7
-----	-------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要と見込まれる高山小学校について、平成26年度に策定した対応の方針と計画を踏まえ、平成28年度の校舎増築工事に向けた実施設計を行う。また、引き続き全市域を対象に住宅開発状況等を注視しながら将来推計の更新を継続し、適切な対応を図る。 【事業量】 ・高山小学校校舎増築工事实施設計等業務 ・地域・保護者への事業説明会（7月10日） ・設計概要説明会（10月中旬予定）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○補正予算議決 高山小学校校舎増築工事实施設計等業務：履行期間（7月中旬～28年2月末） ← → ■ 地域・保護者への事業説明会（7月10日） ■ 設計概要説明会（10月中旬予定）
	事業の成果 （目標） 高山小学校校舎増築工事实施設計等業務を実施

中間評価	上半期の 実績・課題等 高山小学校の今後の学級数増加への対応に関する説明会の開催（7月10日） 説明会は59名の出席者（保護者、近隣住民等）により、活発な意見交換を行った。実施設計に向け市民の皆様への疑問点を解消するためにも、説明会を重ねて理解を求めていく。
	事業評価 審査会 特記意見 政策的に取り組み課題とする。
	政策会議 評価・意見等
主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・高山小学校時限付き新校舎整備工事に向けた実施設計等業務の実施 ・地域・保護者への事業説明会（7月10日） ・施設プラン説明会（11月14日） ・設計概要説明会（3月5日）															
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○補正予算議決 高山小学校時限付き新校舎整備工事の実施設計等業務：履行期間（平成27年8月4日～平成28年3月31日） ← → ■ 地域・保護者への事業説明会（7月10日） ■ 施設プラン説明会（11月14日） ■ 設計概要説明会（3月5日）															
	事業の成果 （実績） 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要と見込まれる高山小学校について、適正な学習環境の確保に向けて、高山小学校時限付き新校舎整備工事の実施設計等業務を実施した。															
	事業の総括 （主管課） 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要と見込まれる高山小学校について、平成27年度に高山小学校時限付き新校舎整備工事の実施設計を実施・完了したことで、平成29年度当初からの新校舎使用開始に向けての取り組みを進めた。平成28年度は、新校舎整備工事を実施し、児童数増に対応した適正な学習環境を確保する。 また、事業実施にあたり説明会を3回実施し、保護者、地域の皆様からの意見を取り入れながら実施設計を進めた。 児童・生徒数及び学級数については、中・長期的な課題を抽出しながら必要な対応を図るため、全市域を対象に住宅開発状況等を踏まえた将来推計の更新を行った。															
	事業評価 審査会 評価・意見等 <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予 算 執 行</td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>0千円</td> <td>10,000千円</td> <td>11,972千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> <td></td> <td>11,972千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	予 算 執 行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	0千円	10,000千円	11,972千円	決算額	0千円		11,972千円	執行率（%）	0.0%	
予 算 執 行	26年度実績		27年度6月補正	27年度実績												
	予算額		0千円	10,000千円	11,972千円											
	決算額		0千円		11,972千円											
	執行率（%）	0.0%		100.0%												
主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）															

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	新たな図書館システムの開発	個別事業 掲載No	教 — 8
-----	---------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成26年度に株式会社まちづくり三鷹と共同開発した新たな図書館システム（Webサイト含む）を本格稼働させる。クラウド型システムを利用するために必要なインフラ・ネットワークを整備し、調達するハードウェアのセットアップ作業後、機器の入れ替え、データ移行などの導入業務を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな図書館システムの導入業務</li> <li>市政嘱託員、臨時職員を含む全職員にシステム操作研修を行う。</li> <li>システム更新に伴う、休館期間及び再開後の変更・サービス拡大についての広報</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>新たな図書館システムでの新機能（返却期限お知らせメール、館内検索機に資料の表紙画像表示、シリーズ本の予約に利用できる順次予約機能、複数の予約候補をお気に入り登録）やホームページの更新などにより利用者の利便性を向上させる。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>予定通り準備行為でまちづくり三鷹と導入契約を締結するとともに、機器賃貸借契約等も行い、システム更新に向けて準備を進めた。現在サービス利用契約の締結手続きを進めるとともに、研修や機器導入スケジュールの調整、新ホームページ公開開始のための記事作成や確認などを行っている。広報誌やホームページによりシステム更新やそれに伴う休館についてきめ細かく告知してきたが、今後も一層の広報を行い、利用者への周知を図る。</p>											
	次年度の取り組みの方向性等	<p>安定した図書館サービスの提供を行う。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>											
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									

事後評価	実績	<p>4月1日付で導入契約等を締結し、9月24日から新システムの運用を開始した。9月9日から20日にかけて、職員、市政嘱託員、臨時職員に対するカウンタ研修、バックヤード研修等を行った。広報みたかで連続4回（7/19発行1551号～9/20発行1555号）にわたって広報を行うとともに、みたかの教育（8月23日号）、図書館だより（第16号）のほか館内掲示、三鷹市立図書館ホームページ上でも告知し、事後であるが10/16にはプレスリリースも実施した。</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（実績）	<p>9月1日から23日間の休館を経て、9月24日に新図書館システムを稼働させた。利用者が気になった図書を記録し、後日予約に振り替えることもできる「お気に入り登録」や利用カードの有効期限の通知といったメールによるお知らせサービス等、各種機能を充実し、個人の貸出冊数上限を15冊に増やすなど業務の見直しと併せて、市民満足度の向上を図った。また、新図書館ホームページではホームページ作成システムを採用し、多くの情報を発信するとともに、1月25日からは三鷹市立図書館メールマガジンの配信を開始した。メールマガジン配信登録者数は、3月31日現在114人である。</p>												
	事業の総括（主管課）	<p>新図書館システムについては当初スケジュールどおり9月24日から運用を開始した。今後は、システムの安定的な運用を第一に、市民や利用者から寄せられるさまざまな意見や要望等についても、構築事業者との緊密な連携のもと柔軟かつ適切に対応することで、よりよいサービスの提供と市民満足度向上を図る。</p>												
	事業評価審査会評価・意見等							予算執行	26年度実績			27年度6月補正		27年度実績
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										
							予算額	69,341千円	84,434千円	84,434千円		84,434千円		
							決算額	69,082千円		80,984千円		80,984千円		
							執行率（%）	99.6%		95.9%		95.9%		

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	大沢二丁目古民家（仮称）の整備に向けた取り組み	個別事業 掲載No	教 — 9
-----	-------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】平成19年3月に寄贈を受けた大沢二丁目古民家（仮称）について、大沢の里公園内の中核的な文化財の1つとして平成30年度の公開を目指し、整備工事を行う。整備後は、市民に向けた様々な体験学習や民具の展示を行うなど、地域文化財・地域観光の情報発信等の拠点として、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図る。</p> <p>平成27年度は、整備方針を見直すとともに、債務負担行為を設定し、平成27・28年度にかけて基本設計、実施設計を行う。平成29年度に古民家の整備工事を行い、管理運営計画を策定するとともに、公の施設として設置条例を制定する。平成30年度の外構工事完了後、施設を一般公開する予定（平成30年秋頃）。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計の着手</li> <li>三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チーム検討会議の開催</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>← 整備方針検討 →</p> <p>○補正予算議決 ●入札</p> <p>← 三鷹型エコミュージアム事業の全体構想及び全市の展開における方針・方策の検討 →</p> <p>← 基本設計 →</p> <p>・新たな整備方針による基本設計に着手する。 ・三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チームにおいて今後の全体構想及び全市的展開に向けた方針・方策を検討する。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>【実績】整備方針の検討を行い、基本・実施設計の契約を行った。 【課題】公開施設としての安全性・利便性を兼ね備えた施設としての設計を進める。また、プロジェクト・チームを開催し、昨年度の検討経過を踏まえ、全体構想の策定及び全市的展開に向けた方針・方策の検討に着手する。</p>											
	事業評価審査会特記意見	施設の管理運営のあり方を見据え、地域住民に意見を聞きながら整備を進めていくこと。	政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。 古民家に関する講座を開催するなど、ボランティアの人財確保に努めるとともに、工事期間中から市民中心のボランティア協議会を設置するなど、機運醸成に努めること。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計の着手</li> <li>三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チーム検討会議の開催</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>← 整備方針検討 →</p> <p>○補正予算議決 ●入札・契約</p> <p>← 基本設計 →</p> <p>三鷹型エコミュージアム事業の全体構想及び全市的展開における方針・方策の検討第1回11/19 第2回12/22 第3回3/28</p> <p>・基本設計に着手し、設計事務所、関係各課、文化財保護審議会との検討を進めた。 ・平成28年度に解体調査を行うこととした。 ・三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チーム検討会議の開催（3回）</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>大沢二丁目古民家（仮称）については、大沢の里公園内の中核的な文化財として公開活用を図るため、新たな整備方針を検討した。この方針では明治35年に創建された古民家について、数度にわたる改修を経た最終的な姿である昭和55年頃の状況に整備することを基本とするとともに、茅葺屋根を不燃材の屋根とし、建築基準法に適合させるなど、公共施設としての安全性や利便性確保と文化財保存の両立を図ることとした。また、様々な体験学習や昔の暮らしを伝える民具等の展示を行うなど、地域文化財や地域観光の情報発信を行う拠点施設を目指して、基本設計に着手した。さらに、部材の転用や改築による建物の変遷や文化財としての建物の歴史を明らかにするため、平成28年度に解体調査を実施することとした。</p> <p>三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チームでは3回の検討会議を開催し、全体構想及び全市的展開に向けた方針・方策の検討を行った。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	地域住民や関係機関との情報提供を密に行い、整備方針の着実な推進を図ること。	予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績						

事業評価審査会評価・意見等		予算額	117,687千円	3,150千円	3,150千円
		決算額	0千円		1,750千円
		執行率(%)	0.0%		55.6%

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



平成27年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	総合教育相談の充実	個別事業掲載No	教 — 11
-----	-----------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 国の動向や「東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画」に基づく特別支援教室の導入を踏まえ、三鷹市のこれまでの実績に基づき、一人ひとりのニーズに応じた合理的配慮を踏まえた固定制・通級制の教育支援学級の設置のあり方を検討する。また、福祉・保健・医療等関係機関と連携した支援を進めるスクールソーシャルワーカーを拡充し、子どもの貧困対策への対応も含め、児童・生徒や保護者へのよりの確かな支援のために、教育相談員や市配置のスクールカウンセラーによるスクールソーシャルワークを強化し、子ども家庭支援ネットワークによる、緊密な連携をさらに充実する。</p> <p>【事業量】 ・特別支援教室の導入を踏まえ、固定制・通級制の教育支援学級の設置のあり方を検討する。 ・子どもの貧困対策への対応も含め、教育相談員や市配置のスクールカウンセラーによるスクールソーシャルワークを強化する。</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果(目標)	<p>○教育支援推進委員会 固定制・通級制の教育支援学級の設置のあり方を検討 ○教育支援推進委員会</p> <p>WGによる検討 ↓ 検討を反映 ↓ 検討を反映 ↓ 検討を反映</p> <p>○教育支援学級検討PT設置 PT会議 ○PT会議 ○PT会議</p> <p>スクールソーシャルワークの効果的な活用とその検証</p>																										
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>特別支援教室の導入を踏まえた、固定制・通級制の教育支援学級の設置のあり方の検討を行うため、特別支援教室検討プロジェクト・チームを設置し、基本方針等について検討を継続的に行っている。他市の特別支援教室を視察するなど、計画的に取り組みを進めている。8月現在、スクールソーシャルワーカーと就学相談担当教育指導員等との連携のほか、福祉・保健・医療等関係機関とのケースに応じたさまざまな連携が行われている。</p>																										
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に評価・意見等</p> <p>重点的に取り組む課題とする。担当教員の資質向上のため、研修への積極的な参加を推進すること。</p>																										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																							
事後評価	実績	<p>・特別支援教室の導入に向け、「校内通級教室（仮称）プロジェクト・チーム」と「ワーキンググループ」を設置し、それぞれ11回と3回の会議を開催した。 ・スクールソーシャルワークの強化については、配置体制を6人に拡充したことにより、ニーズに対し、迅速に対応が行えるようになり、関係機関との連携件数が、26年度（206件）の約1.1倍の224件に増加した。</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果(実績)	<p>・特別支援教室の導入に向け、「校内通級教室（仮称）プロジェクト・チーム」と「ワーキンググループ」を設置し、それぞれ11回と3回の会議を開催 ・先行して巡回指導を実施している他市の視察の実施 ・学校管理職を含めた「校内通級教室（仮称）検討グループ」を設置し、2回の会議を開催 ・スクールソーシャルワーカーについては、関係機関との連携件数が、26年度（206件）の約1.1倍の224件</p>																										
	事業の総括(主管課)	<p>特別支援教室の導入に向け、教育部内の「校内通級教室（仮称）プロジェクト・チーム」と教職員を含めた「ワーキンググループ」を設置し、それぞれ11回と3回の会議を開催し、検討すべき課題の整理や進め方とスケジュールの検討・調整を行った。会議の他にも、先行して巡回指導を実施している他市の視察を実施した。また、学校管理職も含めた「校内通級教室（仮称）検討グループ」を設置し、2回の会議を開催する中で、プロジェクト・チームとの共通理解を図った。平成28年度は、各グループにおいて検討を進め、校内通級教室（仮称）の「実施方策」を策定し、平成29年度巡回指導実施に向けて、東部地域の4学園9校において校内通級教室（仮称）の施設整備と巡回指導準備を行う。</p> <p>スクールソーシャルワークの強化については、配置体制を6人に拡充したことにより、ニーズに対し、迅速に対応が行えるようになり、福祉・保健・医療等関係機関との連携件数が26年度（206件）の約1.1倍の224件に増加した。</p>																										
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>56,975千円</td> <td>56,891千円</td> <td>56,891千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>49,810千円</td> <td></td> <td>51,365千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>87.4%</td> <td></td> <td>90.3%</td> </tr> </table>												予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	56,975千円	56,891千円	56,891千円	決算額	49,810千円		51,365千円	執行率(%)	87.4%	
予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績																									
	予算額	56,975千円	56,891千円	56,891千円																								
	決算額	49,810千円		51,365千円																								
執行率(%)	87.4%		90.3%																									
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																								

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	学校給食の充実と効率的な運営の推進	個別事業 掲載No	教 — 12
-----	-------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	学校給食調理業務の委託化を推進し、学校給食の充実と効率的運営を図る。また、市内産野菜の学校給食への活用を推進する。 ○平成27年度4月から新たに第一小学校で給食調理業務の委託を開始する。 ○平成28年度からの羽沢小学校及び第七中学校における給食調理業務委託の開始及び既委託校（第二小学校及び井口小学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を行う。 ・新規委託校における保護者説明会（7月） ・募集要項説明会及び現地説明会（9月） ○委託校に学校給食運営協議会（保護者・学校・委託業者・教育委員会事務局職員で構成）を設置し、委託業務の履行状況を確認するとともに、給食の運営について協議する。 ・開催月：新規委託開始校（7月・1月） ・既委託校（1月）											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	補正予算○保護者説明会（羽沢小・第七中） ○業者決定（契約） 議決 ○競争入札等 ○募集要項配布 ○競争入札等 審査委員会 ○募集要項・現地説明会 審査委員会 業者選定審査委員会（3回）											
事業の成果（目標）	・第一小学校での給食調理業務委託開始（委託校計13校）（最終目標年次・平成34年度までに全22校で委託化達成） ・平成28年度からの2校の新規委託開始及び既委託2校の委託業者見直しに向けた業者選定												

中間評価	上半期の実績・課題等	・4月に委託を開始した第一小学校において、学校給食運営協議会を設置し、7月に会議を開催した。同協議会では、運営状況等を確認した。また、平成28年度からの新規委託校（羽沢小学校・第七中学校）において、給食調理業務委託に関する保護者説明会を7月に開催した。今後は、新規（羽沢小、第七中）及び見直し（第二小学校・井口小学校）対象校の委託業者選定に向けたプロポーザルの実施や準備と、平成29年度に予定する新規委託校及び見直し校の選定を行う。 ・学校給食等への市内産野菜活用推進チーム（庁内プロジェクト・チーム）を設置し、使用率向上に向けた具体的な方策の検討を行うこととした。										
	事業評価審査会特記意見	学校給食における市内産野菜の使用率向上に向けて、実効性のある仕組みづくりを行うことが望ましい。			政策会議 評価・意見等		重点的に取り組む課題とする。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする						

事後評価	実績	・第一小学校の給食調理業務を開始し、委託校は全13校になった。 ・平成28年度からの羽沢小学校及び第七中学校の給食調理業務委託の開始及び既委託校（第二小学校及び井口小学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を完了し、契約を締結した。											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	・第一小学校の給食調理業務を開始し、委託校は全13校になった。 ・平成28年度からの羽沢小学校及び第七中学校の給食調理業務委託の開始及び既委託校（第二小学校及び井口小学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を完了し、契約を締結した。 ・学校給食等への市内産野菜活用推進チームを設置し、会議を開催した。 ・東京むさし農業協同組合、三鷹市、三鷹市教育委員会による、学校給食における市内産野菜活用推進に関する協定を締結し、同協定に基づく学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会を開催し、使用率向上に向けた具体的な方策について協議を開始した。											
	事業の総括（主管課）	第一小学校の給食調理業務委託を平成27年4月から開始した。また、平成28年度から委託を開始する羽沢小学校及び第七中学校、委託開始から5年目を迎える第二小学校及び井口小学校の事業者をプロポーザル方式により、決定した。 委託を開始した第一小学校には、保護者、学校、委託業者、教育委員会事務局で構成する「学校給食運営協議会」を新たに設置し、7月に会議を開催した。その他の委託実施校についても、1～2月に会議を開催し、各校における良好な運営状況を確認するとともに、安全でおいしい給食の充実と効率的な運営を図ることができた。 学校給食における市内産野菜の使用率向上に向けて、「学校給食等への市内産野菜活用推進チーム」の設置と「学校給食における市内産野菜活用推進に関する協定」の締結、並びに、同協定に基づく「学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会」を開催し、使用予定量と作付・収穫の調整、集約・配送システム構築などの、具体的な方策について協議を開始した。											
	事業評価審査会評価・意見等					予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績				
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上	1 計画どおり	2 計画の7割未満	3 その他（取組方針の変更等）					
						予算額	307,421千円	339,468千円	339,468千円				
						決算額	306,410千円		339,433千円				
						執行率(%)	99.7%		100.0%				